

広報 あいづばんげ

4 2017 No.632

特集

路線バスで おでかけしませんか？

各課からのお知らせ	6
国保のはなし	13
まちの話題	14
ばんげの味が育てるおいしい楽しい健やかライフ	15
図書室だより・町史編さん室より	16
ばんげのいいとこ、みつけた！・町のカレンダー	17
お知らせ版 information	18
地域おこし協力隊通信・節分豆まき会	26



地域をつなぐ足を守ろう

みなさんは普段、どんな移動手段で通学・通勤・買い物に出かけていますか？
都合のよい時間に出発でき、目的地により近い場所まで移動できる自動車をつい使いがちではないでしょうか。

公共交通機関の一つである路線バスは、人口減少・自家用車の普及などから利用者が減っており、存続の危機に直面しています。
大切な移動手段をなくさないために、路線バスをもう一度見直してみませんか？

路線バスを 取り巻く現状

路線バス利用者数の減少

自家用車の普及に伴い、全国的にバスの利用者は減少しており、最盛期の昭和45年には1000万人を超えていた利用者も、平成26年には半分以下の400万人程度にまで落ち込みました。

そんななかでも、会津坂下町では広域な町内をカバーする移動手段を確保するため、町の補助・委託により町内路線の運行を続け



ています。

小・中学生の登下校や利用者のニーズに合わせてダイヤを変更するなど、利便性の向上に努めています。利用者は依然として減少傾向にあります。

路線バスの未来

このような状況が今後も続けば、町の補助・委託で運行している町内路線の減便や、町内と会津若松・喜多方・柳津を結ぶ路線の減便、最終的には廃止されることも懸念されます。

路線バスの廃止は、特に車以外の交通手段をもたな

い人にとっては移動範囲の制限につながり、大きな損失をもたらすことになりま



路線バスの メリット

路線バスの不便な部分を考えた時に、ちよいどいい時間帯の発着便がない、バス停までの距離があるなどの点があげられるかと思

います。一方で、路線バスを利用することで、メリットも実はたくさんあるのです。

路線バス利用は

地球にやさしい

世界規模での問題となっている地球温暖化は、二酸化炭素などの温室効果ガス

が一つの要因です。

自家用車を始めとする航空・バス・鉄道などの輸送手段別に輸送量当たりの二酸化炭素排出量を比較すると、自家用車に比べバスは約40%の排出量に抑えられています。

自家用車の利用をなるべく控え、路線バスを利用する人が増えれば、二酸化炭素の大幅な削減が期待できます。

路線バス利用は

体にやさしい

自家用車の便利なところは、何といつてもドア・ツー・ドア（ドアからドアへ）の最短で目的地まで向かえることです。一見メリットしかないように思えますが、車を使うことで運動量が減り、体力の低下につながっていると考えられます。

路線バスを利用すれば、多くの場合バス停から目的地までは歩くことが多いでしょう。やさしい距離かもしれませんが、この積み重ねが運動量の確保につながり、ひいては私たちの健康につながっていきます。

路線バス利用は

お財布にやさしい

自家用車を所有しているみなさんは、車の維持費にどれくらいのお金がかかっているのか、考えたことはあるでしょうか。

まず前提条件として、年間1万kmを走り、新車を買って10年間使用するとします。税抜150万円程度の軽自動車为例に計算すると、車の代金・車検代・自動車保険料・ガソリン代などの諸経費込みで年間約40万円かかっており、毎日約1100円を支払っていることになります。車の代金を含めない場合は、年間約24万円、一日当たり約660円となりますが、忘れてはならないのがこれが車に乗った日も乗らない日も同じようにかかっているということです。

路線バスの運賃は、距離にもよりますが、町内の移動であれば1回の往復につき750円程度で済むので、たまにしか車に乗らないという人が路線バスに移動手段を変えれば、かかるお金を大幅に減らすことができます。

※平均的な数値で計算した結果です。車種・その他条件により金額は前後しますので、あくまでも一つの例としてご覧ください。

みんなで バスに 乗ろう！

路線バスを利用していただくために、会津坂下町で行っている事業を紹介します。事業の対象となる方はもちろん、そのご家族・ご友人のみなさんも、一緒にバスに乗ってみてください。

1 高齢者と運転免許証自主返納者を対象としたバス乗車券の補助

この事業は、車による高齢者の交通事故防止のため、運転免許証が返納されやすい環境づくりと、路線バスの利用がしやすい運行体系の整備などを目的に、「公共交通と商店街が連携した高齢者にやさしいまちづくり社会実験事業」の一つとして実施しているものです。

近年、高齢者が運転する車の死傷事故が、テレビなどで取り上げられることが多くなりました。

なかなか決断はしづらいかもしれませんが、「車を運転しない」というのも事故防止の一つの手段です。

この補助事業は、平成29年度も引き続き行いますので、65歳以上の方、運転免許証の返納を考えている方は、ぜひご利用ください！

■平成29年度分申請期間
4月10日(月)～
■申請先・問い合わせ先
政策財務課 政策企画班
☎84・1504

区分	対象者	補助内容	申請方法
①	65歳以上のすべての方	年間24枚のエコノミー回数券※ ₁ を交付	申請書に必要事項を記入し、「身分証明書」の写しを添えて町に申請してください。 ※申請書には、押印が必要です。
②	運転免許証を自主返納した方(有効期限内の免許証に限る)	年間6,250円分の普通回数券※ ₂ を交付	○新たに返納される方 警察署での返納手続きの際に、窓口で申請してください。 ○既に返納された方 返納時に発行される「申請による運転免許の取消通知書」または「運転経歴証明書」の写しを添えて町に申請してください。
③	町・地区コミュニティセンター主催の事業へ参加する方	居住地最寄りのバス停から、事業開催地最寄りのバス停まで、往復のエコノミー回数券を交付	事業主催者にお問い合わせください。

※区分①～③は重複して申請できます。

申請前に知っておきたい！
ポイント

■申請書について

①～③までの申請書は、町役場政策財務課政策企画班にあります。会津坂下警察署には、②の申請書のみ備え付けてあります。

■乗車券の種類について

※₁【エコノミー回数券とは？】

発着バス停をあらかじめ決めておく片道乗車券です。有効期限は発行から1年間となります。
※途中乗車・下車した場合、運賃の差額返金はありません。

※₂【普通回数券とは？】

区間指定・有効期限がない乗車券です。500円・1000円・50円・10円の4種類があり、組み合わせで運賃を支払います。不足した金額は現金で補うことも可能です。

■自主返納について

自主返納とは、運転免許証の有効期限内に自主的に免許証を返納することを指します。
したがって、有効期日が過ぎってしまったものは「失効」扱いとなります。別途更新が必要となります。自主返納の詳細については、会津坂下警察署までお問い合わせください。



こんなふうに、路線バスに乗ってみんなが買い物に出かけたらいつもより楽しいかもしれません。

2

町内商店街と連携したバス利用者へのサービス事業

①の事業の申請者には、町内協賛店でさまざまな特典を受けられる公共交通会員証を配布しています。

主な特典としては、割引・ポイント贈呈・ドリンクサービス・店内休憩サービスなどがあり、町内約30店舗に協賛いただいています。

対象店舗をご利用の際に、氏名が記入された会員証を提示していただくことで、お得にお買い物ができます。

詳しい協賛店やサービス内容については、①の事業の申請時にご説明していますので、ぜひご活用ください。

3

高齢者や小学生を対象としたバスの乗り方教室の開催

小・中学校の統合に伴い、子どもたちの通学手段にバスが加わりました。バス通学の子もそうでない子も一緒に、バスの安全な乗り方や車内でのマナーを学ぶことを目的として、バスの乗り方教室を行っています。

また、バスの利用率が高い高齢者の方を対象とした教室も開催しています。路線バスの現状やバスの乗り方を座学で学んだあと、実際に路線バスに乗ってみるというメニューになっており、各地区の熟年講座などの一つとして取り入れていただいています。

参加者の中には、路線バスをよく利用している人もいれば何十年もバスに乗っていないという人もおり、乗車時の整理券の取り方や運賃の払い方を確認しながら試乗しました。

バスの乗り方教室は、各地区に出張して開催します。バスの利用者が多い地区はもちろん、路線の変更により新しくバスが通るようになった地区など、バスの乗り方を再度確認する機会として、ぜひ乗り方教室をご活用ください。

■乗り方教室についての希望・問い合わせ先

政策財務課 政策企画班

☎ 84・1504



川西熟年講座で行われたバスの乗り方教室



坂下東小学校で行われたバスの乗り方教室

路線バスに乗るときは…

- ゆっくり、焦らず、安全に乗り降りしてください。
- 車内では千円札の両替もできます。降りるときで構いませんので、車内事故防止のため走行中は席を立たないようにしてください。
- 車椅子でのご乗車もできます。お気軽に営業所までご連絡ください。
- 困ったこと・分からないことは、運転手になんでも聞いてください！



会津乗合自動車株式会社
坂下営業所 所長 木村直人さん



存続の危機にある路線バスですが、地球温暖化改善などのメリットを持ち、運転免許証返納者や高齢者の安心・安全な移動を確保する、地域になくてはならない大切な交通手段です。

時間に追われがちな現代社会だからこそ、お子さん・お孫さんと一緒にゆっくりお話をしながら、窓の外を眺めながら、路線バスに乗ってみませんか？ みんなの力で地域の足を支えましょう！